

研究名：

年齢横断的病歴データベースの構築と救急受診必要度予測 AI の開発

— 国際保健への応用を見据えた研究基盤 —

1. 研究の目的

病歴（症状の経過などの情報）は診断の 70～80% を決定づけるとされ、臨床上也とても価値の高い情報の一つです。しかし、救急の現場では、限られた診療時間のなかで十分に聴き取れず、その真価を発揮できていないことが少なくありません。また、昨今の医療 AI は、画像検査をはじめとする各種検査の臨床的意義を十分に反映できていません。そこで本研究では、病歴や各種検査結果の臨床的意義を反映した人工知能モデルを開発し、救命率の向上を目的とします。

2. 研究の方法

① 研究対象：

2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに感冒症状（咳、鼻水、のどの痛みなど）、呼吸困難を主訴に国立成育医療研究センターおよび国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターを受診された患者さん

② 研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日

③ 利用又は提供を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日

④ 研究方法：

両施設の電子カルテやトリアージ記録から対象となる患者さんの診療情報を抽出し、分析を行います。収集したデータは、個人が特定できないように加工した上で、受診の必要性を判定する AI モデルの開発に使用します。本研究では、他の機関への情報の提供は行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴（症状、経過など）、バイタルサイン（体温、脈拍など）、患者属性（年齢、性別等）、検査データ（検体検査、画像検査など）、転帰（帰宅、入院、集中治療室入室、死亡）、カルテ番号など

4. 個人情報の取り扱い

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名およびカルテ番号が含まれます。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの検体や情報は、個人情報をすべて削除し、どなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、個人情報を削除した検体や情報を結びつける資料は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で破棄します。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者 山田 夏彦

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 分担研究者 下田 大貴

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 山田 夏彦

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7316）